

5 西小学校校舎における現状と課題について

(1) 現状

- ▶ 所在地 日進市浅田町東田面 7 6 番地
- ▶ 児童数 8 0 0 人（令和 6 年度当初）
- ▶ 学級数 2 9 学級
- ▶ （普通学級 2 5、特別支援学級 5 ※くすのき 2 とくすのき 5 は同教室とする）
- ▶ 通学範囲 浅田町、梅森町、梅森台、野方町等
- ▶ 校舎建築年 昭和 4 3 年～ 5 4 年
- ▶ 校舎築年数 築 5 6 年～ 4 5 年
- ▶ 敷地面積 1 8, 8 2 9 m²
- ▶ 延べ面積 6, 8 0 9 m²
- ▶ 構造 鉄筋コンクリート造（旧耐震基準建物）

(2) 課題

1) 老朽化の進行

- ・給水管などのインフラ配管からの漏水
- ・コンクリートの劣化による耐久性低下の懸念
令和元年度構造耐久性調査（※1）結果より
 - ▶残存耐用年数20年以内
 - ▶中性化深さ（※2）では重度の劣化度の判定

※1 構造体耐久性調査：鉄筋の腐食やコンクリートの中性化の度合いなどの調査

※2 中性化深さ：コンクリートのアルカリ成分が酸化された度合い

→中性化が進行すると、コンクリート中の鉄筋に錆が発生しコンクリートの強さが低下

2) 教室数の不足

人口推計によると今後普通学級数が30学級まで増加の見込み

→使用可能な教室数は26教室であることから、4教室不足の見込み

3) 敷地面積狭小

児童数に対し敷地面積が狭小である

- ・現在の敷地面積 18,829m²
- ・文部科学省公立学校施設整備費補助金基準敷地面積
30学級の場合 29,640m²
- ・約10,811m²少ない

今後児童数が増加の見込みもあることから、さらに不足する可能性あり

4) 新たな教育環境への対応

- ・エレベーターのバリアフリー化（学校施設バリアフリー化推進）
- ・ワークスペースなどの多目的空間の設置（多様な学習形態、弾力的な集団による活動可能施設）

5) 騒音への対応

住宅や病院に隣接している。ここで工事を行う場合には周辺に対する騒音の影響が大きい

6) 隣接道路への対応

西側道路幅が4.2～5.6mで歩道がない

→通行車両との間隔があまりとれない